

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東京市町村総合事務組合		代表者名	加藤 育男	
担当者部署	教務課		連絡先電話番号	042-384-6444	
担当者役職	主任	担当者氏名	小宮山	連絡先E-mail	
住所	183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館別館				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一	
評価	大変よい	
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	当研修所の研修目標・内容等をご確認いただき、研修実施方法など適切なアドバイスをいただけた点がよかった。	
アドバイザーへの要望事項	特になし。	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年6月12日	事前打合せ(オンライン)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	10時25分	
			活動時間（分）	25	
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	研修第二係職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXの推進は、職員、組織全体がデジタル化の基礎知識やその必要性を認識、共有し、自分自身の取り組みと理解していなければ進めることは困難である。東京都内39市町村では、DXの推進の取り組みについては、デジタル技術を取り入れることへの必要性等の基礎的な知識が根付いているとは言えない状況であり、知識を深める機会が必要である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DXリテラシー向上研修の実施し、 ①DX推進の必要性とDXがもたらすメリット。 ②改善改革意識に結び付くマインドセット。 ③DXを自分ごととしてとらえ、主体的に動くことができる人材の育成 の3点を中心に講義いただくことで、各市町村の受講者が基本的な知識や最新の情報の習得を図る機会となる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・DX研修の打合せ 研修方法や内容の決定	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	研修中に質疑応答の時間を設けるタイミング等を確認した。研修時間が長いため、受講者同士でペアワークを行う時間を設けることとした。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのため、未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	各市町村の職員が自ら考え行動することにより、各組織全体にDX推進が波及していく状態。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

